Harmonic Drive Systems Inc.
株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

# 2023年度環境報告書

## 2023年4月～2024年3月

# 環境方針

当社グループは、地球環境に対する企業の社会的責任を強く認識し、当社グループの事業目的であるトータル・モーション・コントロールの追求を通して、自然破壊を抑えるべく優れた技術・サービスを社会に提供し、地球環境の保護に努めることを方針としています。

1）開発から回収・廃棄に至る全ての生産プロセスにおける環境負荷の評価と環境破壊抑制型の技術開発に努め、環境に調和した商品を創出し提供する。
2）環境関連法・条例を遵守し、且つ自主管理目標を設定し、活動計画の見直しを通じて管理レベルの向上を継続的に実行する。
3）資源・エネルギーの効率的利用を図り、廃棄・排出物の低減とリサイクルに努め、環境負荷の低減を目指す。
4）環境方針を従業員及び当社に関連する関係会社・協力会社へ周知する。
5）地域社会での環境保護活動に参加し、地域との共存に努める。

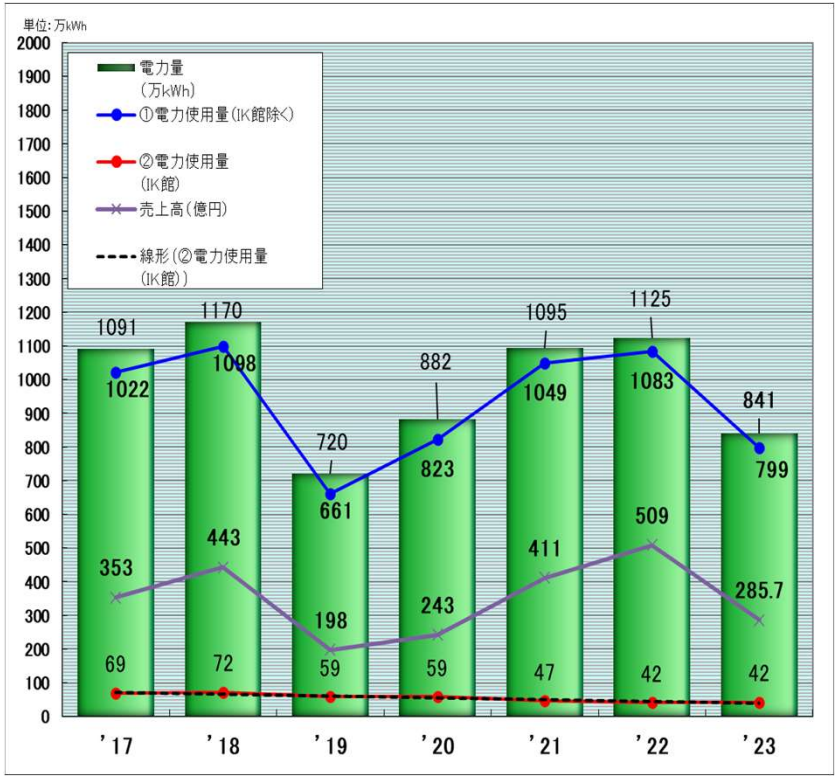
代表取締役社長
丸山　顕

# ◆2023年度の環境活動の総括

| 活動方針 | 中期計画 | 2023年度の活動と成果 |
|---|---|---|
| 1．環境に調和した商品の開発と提供 | 1）環境規制物質の撤廃　及び化学物質審査に関する国際規制への対応<br><br>2）新製品設計における環境評価の充実 | 1）環境規制物質管理<br>労働安全衛生法の化学物質規制の一部改正に準拠するとともに、改正RoHS指令への対応やREACH規則を含む自主管理物質を定め、グリーン調達制度および社内分析検査による保証体制を確立し運用を継続しています。<br>2）新製品設計評価制度<br>製品ライフサークルの各段階におけるエネルギー使用効率向上、排出物削減及び分解分別性向上等に対する設計上の配慮を評価する仕組みを確立して実践しています。 |
| 2．環境負荷を低減した生産プロセスの構築 | 1）電力利用効率の向上とCO2削減<br>目標：6,859 t-CO2／年以下<br>有明ｵﾌｾｯﾄ後：3,940t-CO2/年<br><br>2）排出物の抑制と再資源化の促進<br>目標：再資源化率99%以上 | 1）CO2排出量<br>排出実績: 10,276t-CO2 にて目標未達成でした。なお、有明工場はCO2フリー電力を使用しており、CO2排出量はオフセットされますが、オフセット後のCO2排出量は4,785t-CO2となり目標未達成でした。<br>2）排出物の総排出量<br>2023年度における排出総量実績（原単位）は、前年比70.3%増の結果となりました。再資源化率は前年度より0.8ポイント悪化し99.1％となりましたが、年度目標の”再生化率99%以上”に対しては目標達成となりました。 |
| 3．省エネへの対応 | 1）徹底したムダの削減<br>2）モニタリングシステムの更新 | 1）空調の徹底した管理を実施。操業の増減に対して計画的調整を実施。又、コロナ対策の換気の中で殊に夏季冬季のシビアな温調の実施。<br>2）３事業所全てにおいてモニタリングが可能となり、電力使用状況の異常値の早期発見と迅速な対応を実施。<br>3）積極的な休日空調のﾀｲﾏｰ停止、休日のｴｱｰﾓﾚ点検・修繕等の取組実施。<br>4）工場の定期点検の実施による建物設備の効率確保。<br>5）太陽光発電装置の導入（2016年11月より稼働） |
| 4．地域・国際社会への情報開示と貢献 | 1）地域環境への貢献 | 1）地域の環境保全への取組みとして、工場周辺道路の清掃を実施 |

# ◆電力利用効率向上とCO2排出削減の状況

## 電力使用量・売上・原単位10億に対する電力使用量推移実績




■　2023年度の穂高工場における電力消費は、前年比25.2%減の841.2万kWでした。

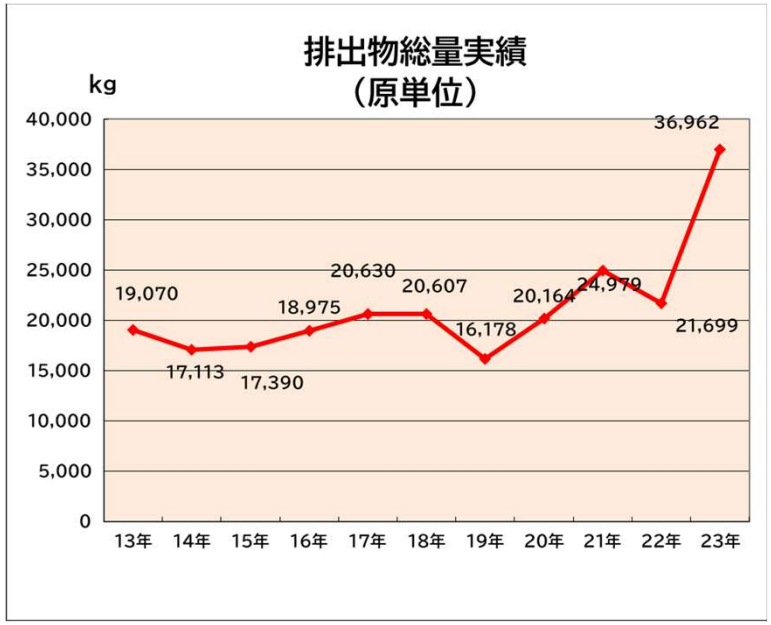
■　CO2排出については、3事業所（穂高・有明・松本工場）トータルで10,276 t-CO2となり、年度目標 6,859t-CO2に対し、目標未達でした。なお、有明工場ではCO2フリー電力を22年4月より採用しており、電力消費によるCO2排出量はオフセットされます。オフセット後のCO2排出量は4,785 t-CO2です。

■　電力利用効率向上への主要な取組み：継続
①製造工程の生産効率の向上
②操業時間外（休日・夜間）の節電
③工場施設及び設備の省エネ化（更新時）
④空調管理強化

■　その他の取組
①太陽光発電の導入（2016年度11月より稼働）
2021年度　220,508kwhの発電
2022年度　228,106kwhの発電
2023年度　225,316kwhの発電

# ◆産業排出物の抑制と再資源化促進の状況

2023年度における排出総量実績（原単位）は、前年比70.3%増の結果となりました。再資源化率は前年度より0.8ポイント悪化し99.1%となりましたが年度目標の”再生化率99%以上”に対しては、目標達成とはなりました。



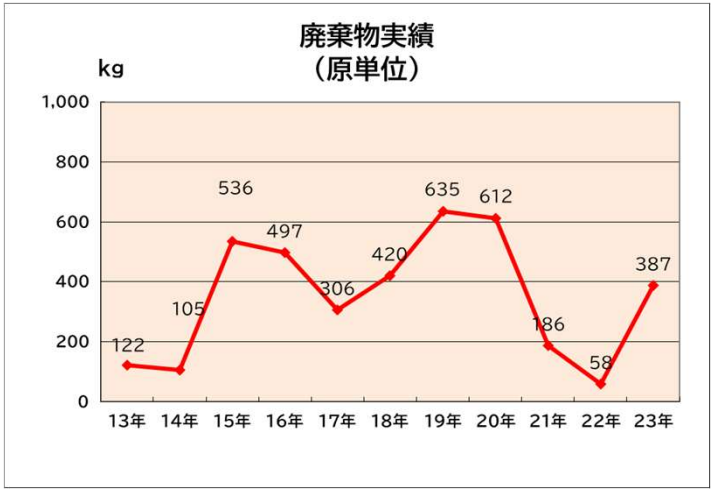

再資源物

99.1%
（23年度）

分別

廃棄物

0.9%
（23年度）




注： 再資源物 = 金属屑・切粉、モータ廃却部品、電線屑、電子部品、OA機器、開発試作品等。
廃棄物 = 木くず、廃プラ、砥石粉等が主なものです。

# ◆地域への貢献

## 緑化及び地域清掃活動

### ①緑化整備

工場周辺地域の景観を損なわないよう
会社敷地内及び周辺道路の緑化に
努めております。

### ②清掃活動

工場周辺道路の清掃活動を3事業所
(穂高・有明・松本各工場)にて
それぞれ年２回実施しました。

各工場の清掃活動

<<穂高工場>>

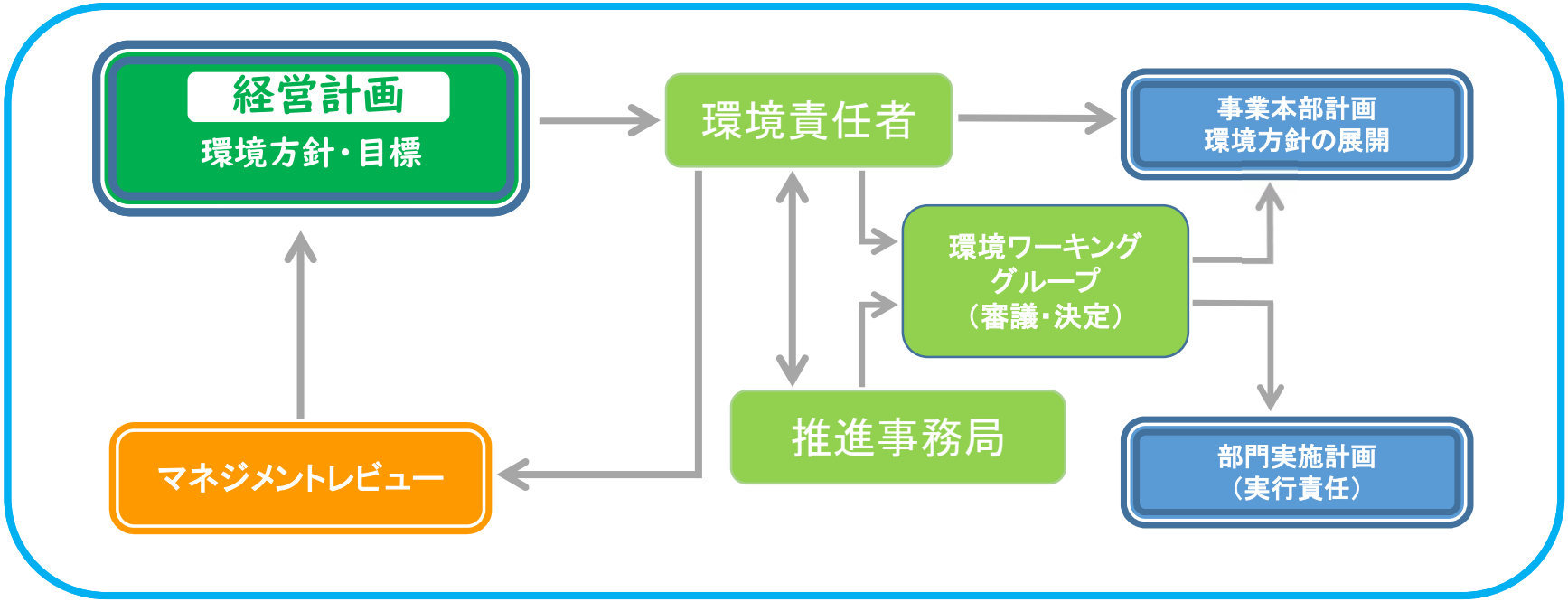
<<有明工場>>

<<松本工場>>

# ◆環境マネジメントシステムの改善

## -推進体制-

当社は、環境方針に基づき、年度ごとに各事業本部が取り組むべき重要課題と目標を設定し、マネジメントプログラムに展開する仕組みを設けることにより、各職制の自律的な環境活動の推進と、環境マネジメントシステムの効率的な運用に努めています。




編集・発行責任／問合せ
発行：2024年11月
発行責任者（環境責任者）：浅倉　修　　編集事務局：総務部　　問合せ先：0263－83－6800

# Harmonic Drive Systems Inc.

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ